



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

株式会社
メディカルシステムネットワーク

2024年3月期 第2四半期

業績説明資料

東京証券取引所スタンダード市場 証券コード 4350

記載内容に関して

- ※ 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- ※ また、本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。

本資料につきましては、当社公式ウェブサイト (<https://www.msnw.co.jp>) よりご覧いただけます。



■ 第2四半期の業績

売上高は堅調に推移、各段階利益は前年同期比大幅増益、また計画比でも大幅に上回る

- 前年同期比 -

- 売上高 +5.9%、営業利益 +55.7%
 - ・ 地域支援体制加算の経過措置終了に伴い、処方箋単価下落 → 既存店技術料単価 ▲3.1%
 - ・ コロナ5類移行や感染症の流行、処方箋送信等のDX活用や服薬フォロー → 既存店処方箋枚数 +4.0%
 - ・ ネットワーク加盟店の取扱高増加
 - ・ 生産性の向上に努め、経費をコントロール

- 計画比 -

- 売上高 +3.3%、営業利益 +114.1%
 - ・ 既存店処方箋応需枚数 計画比+1.9%
 - ・ 医薬品ネットワーク加盟件数は計画未達ながら概ね順調に積み上り、医薬品取扱高は計画比増

■ 通期業績予想を上方修正、配当予想を増額

カッコ内は前期末比
※は前年同期比

< 地域薬局ネットワーク事業 >

地域薬局部門

- ・ 地域薬局店舗数 **434** 店舗 (+6店舗)
- ・ 処方箋単価 (全店) **10,033** 円 (▲28円) ※
- ・ 処方箋枚数 (全店) **4,777** 千枚 (+5.8%) ※
- ・ 処方箋枚数 (既存店) **4,642** 千枚 (+4.0%) ※

～薬局支援3事業～

医薬品ネットワーク部門

- ・ 加盟件数 **9,374** 件 (+462件)

医薬品製造販売部門

- ・ 成分数 **47** 成分 (+2成分)
- ・ 品目数 **98** 品目 (+5品目)
- ・ 取扱店舗数 **3,894** 店舗 (+663店舗) ※

デジタルシフト部門

- ・ 友だち登録数 **84.2** 万人 (+19.3万人)
- ・ 導入店舗数 **4,195** 店舗 (+804店舗)

< 賃貸・設備関連事業 >

ウィステリア

- ・ 全5棟入居率 **82.1** % (+1.7%)

業績ハイライト	．．．	5
重点施策・事業概況	．．．	13
2024年3月期 業績予想・中間配当	．．．	27



1

業績
ハイライト

2024年3月期 第2四半期一 連結業績

(単位：百万円)	2023/3期 第2四半期 (実績)	2024/3期 第2四半期 (計画)	2024/3期 第2四半期 (実績)	前年同期比		計画比	
				増減額	増減率	差額	達成率
売上高	53,340	54,670	56,461	+ 3,121	+ 5.9%	+ 1,791	103.3%
EBITDA ^{※1} 利益率	2,537 4.8%	2,250 4.1%	3,247 5.8%	+ 710	+ 28.0%	+ 997	144.3%
営業利益 利益率	1,099 2.1%	800 1.5%	1,712 3.0%	+ 612	+ 55.7%	+ 912	214.1%
経常利益 利益率	1,242 ^{※2} 2.3%	750 1.4%	1,692 3.0%	+ 449	+ 36.2%	+ 942	225.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 利益率	502 0.9%	250 0.5%	861 1.5%	+ 359	+ 71.5%	+ 611	344.5%
1株当たり 四半期純利益 (円)	16.64	8.28	28.54	+ 11.90	—	+ 20.26	—

※1 「営業利益+減価償却費+のれん償却費」で算出

※2 オンライン資格確認に係る補助金収入 114百万円を含む

2024年3月期 第2四半期 – セグメント別業績

■ 売上高

	(単位：百万円)		増減額	増減率
	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期		
売上高	53,340	56,461	+ 3,121	+ 5.9 %
地域薬局ネットワーク事業 ^{※1}	50,792	53,765	+ 2,972	+ 5.9 %
賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	2,959	3,032	+ 72	+ 2.5%
調整額	▲ 412	▲ 336	+ 75	—

■ 営業利益

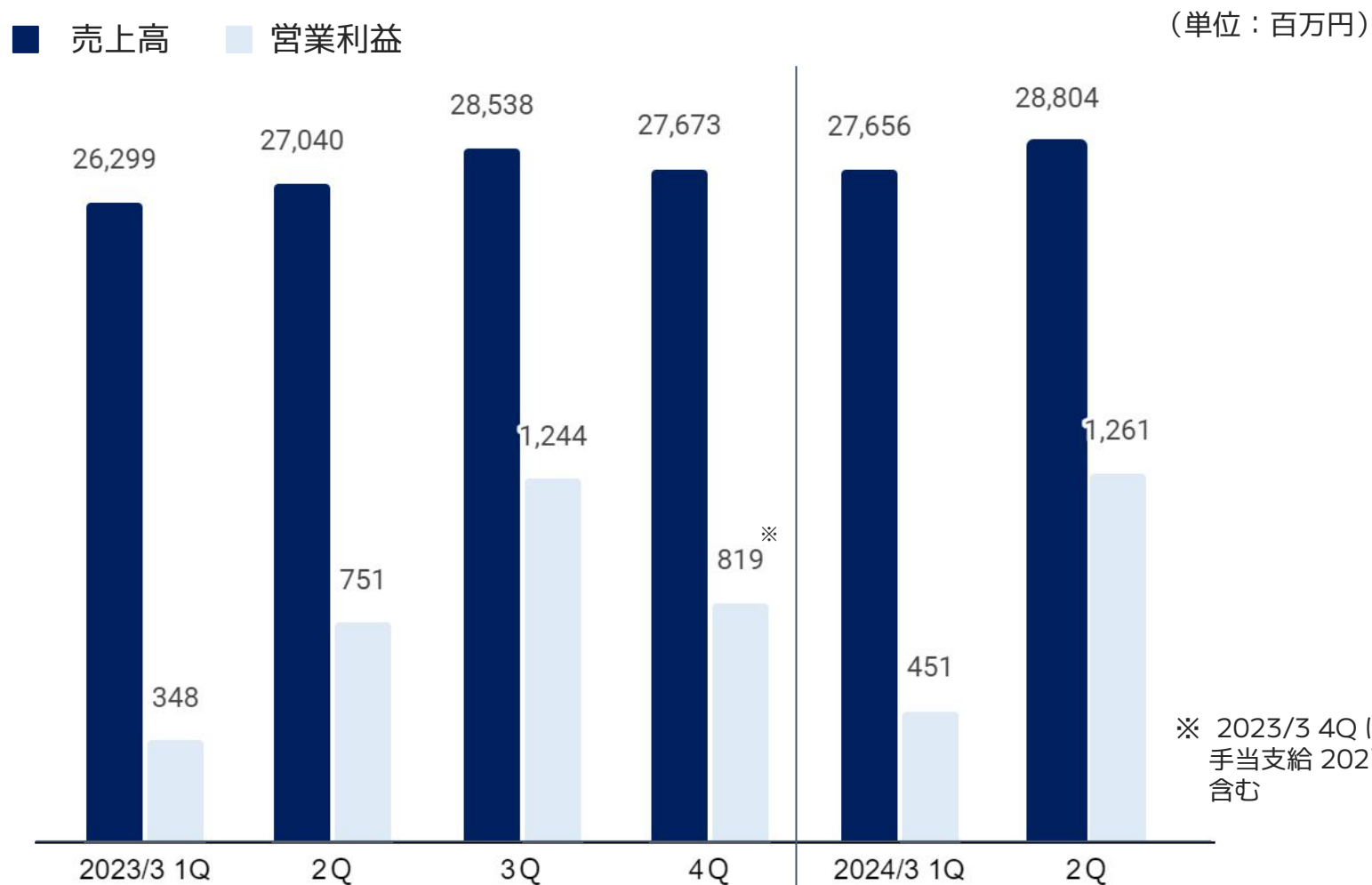
	(単位：百万円)		増減額	増減率
	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期		
セグメント利益	1,099 (2.1 %)	1,712 (3.0 %)	+ 612 + 0.9pt	+ 55.7 %
地域薬局ネットワーク事業 ^{※1}	2,384 (4.7 %)	2,947 ^{※2} (5.5 %)	+ 563 + 0.8pt	+ 23.6 %
賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	▲ 108 (—)	26 ^{※2} (0.9%)	+ 135 —	—
調整額	▲ 1,175 (—)	▲ 1,261 (—)	▲ 85 —	—

※1 地域薬局部門、薬局支援3事業（医薬品ネットワーク部門、医薬品製造販売部門、デジタルシフト部門）

※2 2024年3月期より、薬局開発に係る経費を賃貸・設備関連事業から地域薬局部門へ振替 経費の振替額 78百万円

■ 売上高・営業利益（四半期推移）

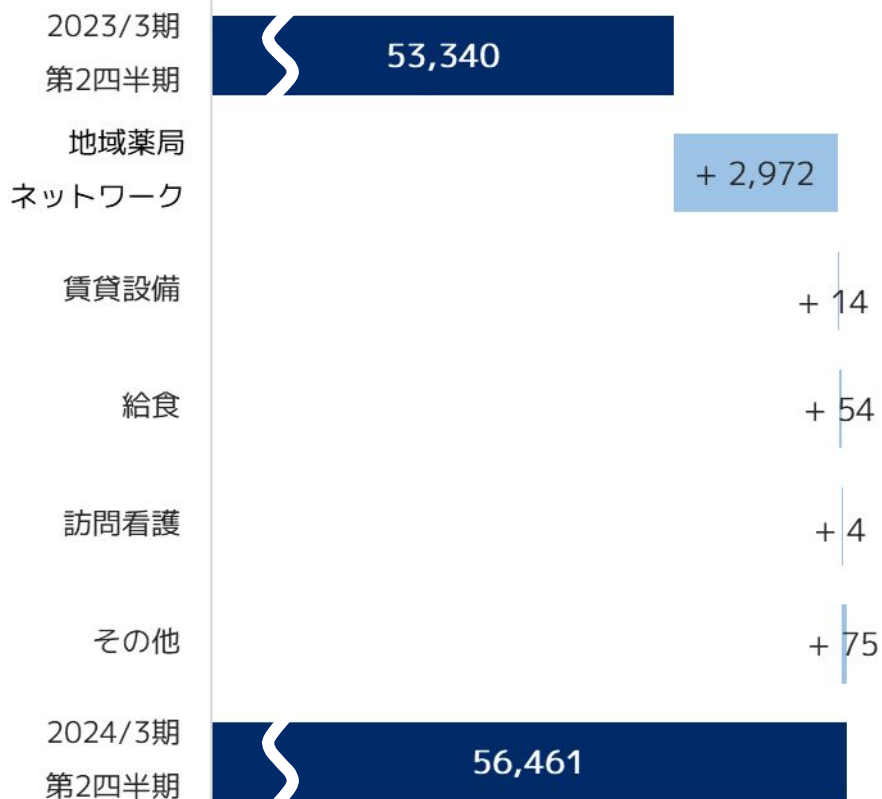
複数の感染症の流行、服薬フォローの強化により処方箋応需枚数が増加し、前年同期比大幅増益



※ 2023/3 4Q は、インフレ手当支給 202百万円を含む

■ 売上高

(単位：百万円)



■ 営業利益

(単位：百万円)

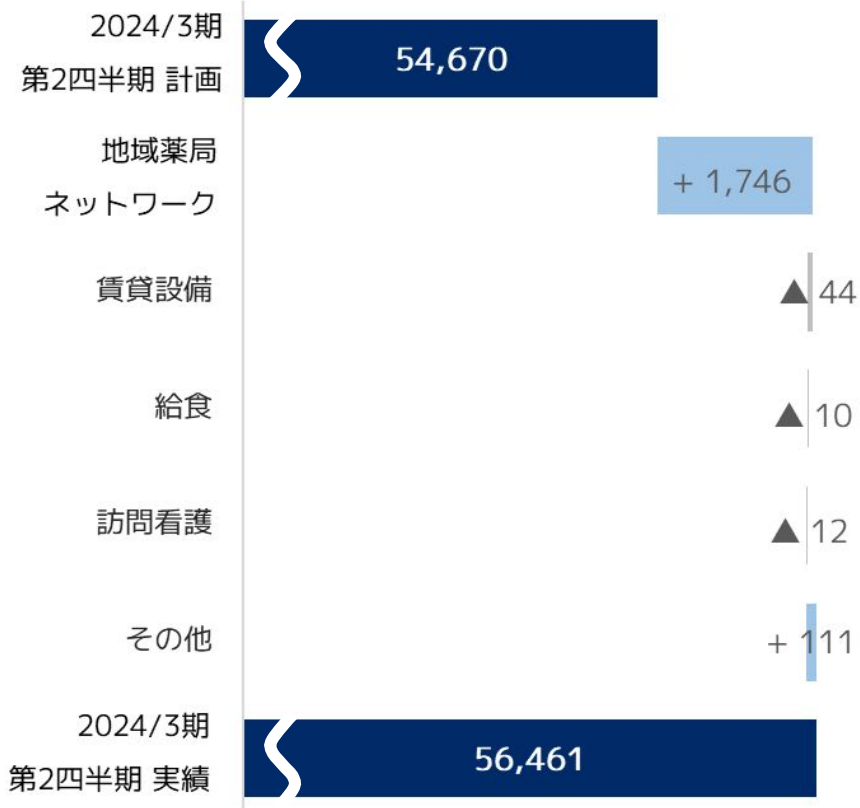


※ 2024年3月期より、薬局の開発に係る経費を賃貸・設備関連事業から地域薬局部門へ振替 経費振替額 78百万円

2024年3月期 第2四半期 一計画比要因

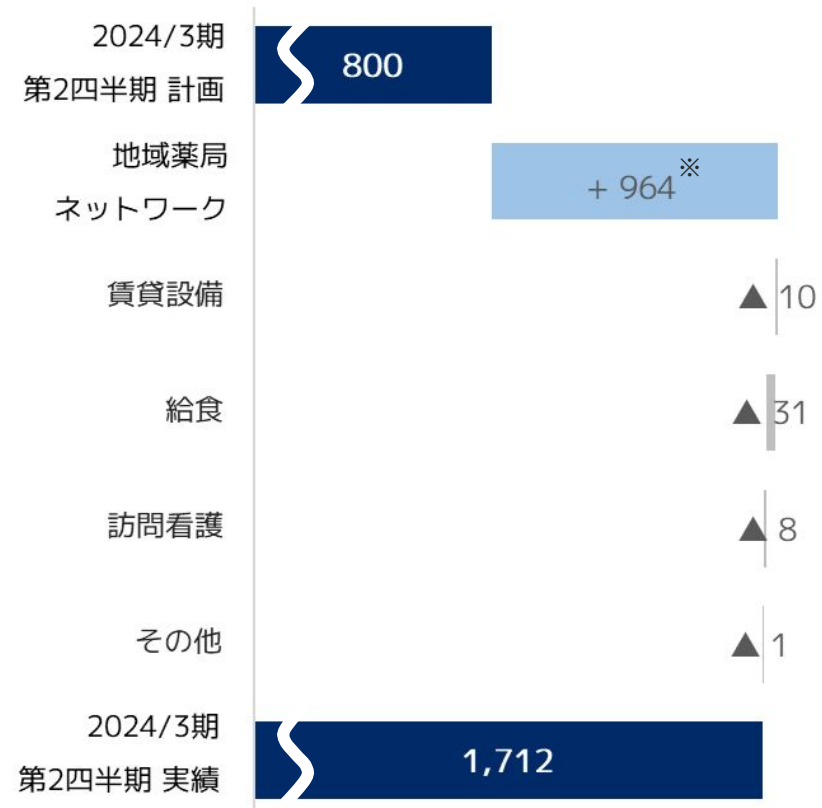
■ 売上高

(単位：百万円)



■ 営業利益

(単位：百万円)



※ 既存店：計画比 処方箋枚数+1.9%、単価+2.0%

2024年3月期 第2四半期 一 連結貸借対照表

■ 2023年3月期末

(単位：百万円)

資産 計	66,223	負債 計	51,735
流動資産	20,265	流動負債	21,349
現預金	8,141	短期借入金 ^{※1}	6,168
		固定負債	30,385
固定資産	45,958	長期借入金	20,226
有形固定資産	27,060	純資産 計	14,488
無形固定資産	11,807	資本金	2,128
のれん	11,183	資本剰余金	1,182
投資その他の資産	7,090	利益剰余金	11,606
		自己株式	▲ 326
資産合計	66,223	負債・純資産合計	66,223
自己資本比率	21.8%		

(ネットキャッシュ考慮後自己資本比率^{※2}

24.9%)

※1 1年以内返済予定の長期借入金を含む

※2 自己資本/(総資産-現預金)で算出

■ 2024年3月期 第2四半期末

(単位：百万円)

資産 計	66,255	負債 計	51,057
流動資産	19,668	流動負債	22,158
現預金	7,643	短期借入金 ^{※1}	6,041
		固定負債	28,899
固定資産	46,586	長期借入金	17,843
有形固定資産	28,128	純資産 計	15,197
無形固定資産	11,272	資本金	2,128
のれん	10,622	資本剰余金	1,182
投資その他の資産	7,185	利益剰余金	12,284
		自己株式	▲ 326
資産合計	66,255	負債・純資産合計	66,255
自己資本比率	22.9%		

(ネットキャッシュ考慮後自己資本比率^{※2}

25.9%)

2024年3月期 第2四半期 一連結キャッシュ・フロー

営業活動による
キャッシュ・フロー

3,611
百万円

EBITDA[※]

3,247 百万円

※「営業利益+減価償却費+のれん償却費」で算出

投資活動による
キャッシュ・フロー

▲ 1,209
百万円

新規出店
既存店改修費用等

▲ 710 百万円
▲ 291 百万円

財務活動による
キャッシュ・フロー

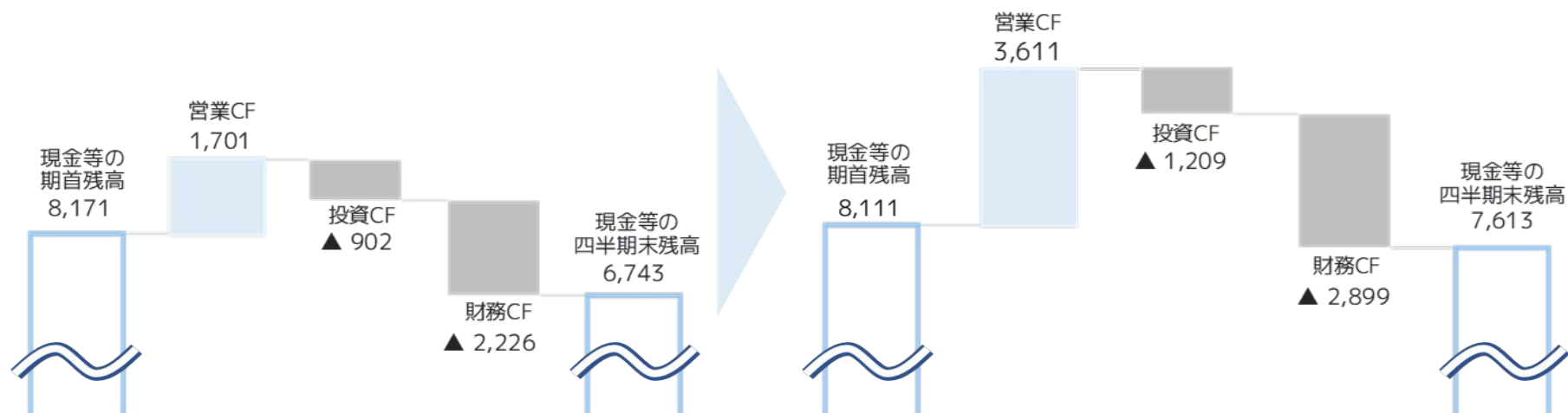
▲ 2,899
百万円

借入金の減少額

▲ 2,510 百万円

■ 2023年3月期 第2四半期 (単位：百万円)

■ 2024年3月期 第2四半期 (単位：百万円)





2

重点施策
・
事業概況

		今期重点施策・数値目標
地域薬局 ネットワーク 事業	地域薬局	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンライン(LINE・処方箋送信) ツールを活用した処方箋獲得 既存店枚数 前期比+1.9% ■ 対人業務の強化、質の高い薬物治療の提供 ■ 医療モールを中心とした店舗開発 (15店舗) ■ 適切なコストコントロールによる生産性の向上
	医薬品 ネット ワーク*	<ul style="list-style-type: none"> ■ 期末目標加盟件数 10,400件 (+1,488件) ■ 流通改善の推進 当社直営薬局 平日1日1回納品・土曜納品なし、急配減 ■ 基幹システムの改修・刷新 ■ 加盟店向けサービスの拡充
	医薬品 製造販売*	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安定供給 ■ 取引店舗の拡大 ネットワーク加盟店を含む取引店舗数 5,000店 (+1,263店)
	デジタル シフト*	<ul style="list-style-type: none"> ■ LINE公式アカウント導入店舗の拡大 導入店舗数 5,300店 (+1,909店)、友だち登録100万人 (+36万人) ■ 機能強化の継続
※ 薬局支援3事業		
賃貸設備関連事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ ウィステリアの入居率90%達成・安定稼働 ■ 適切なコストコントロール 労務費・広告宣伝費の精査・見直し
給食事業・訪問看護事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ影響明け、通常運行への回帰と収支ライン引き上げ
投資・財務戦略		<ul style="list-style-type: none"> ■ エリア連携構築のIT投資 ■ コストコントロールによる利益確保・資本積上げ

地域薬局部門 — 地域薬局店舗数の推移

前期末より8店舗新規出店、2店舗閉店・事業譲渡

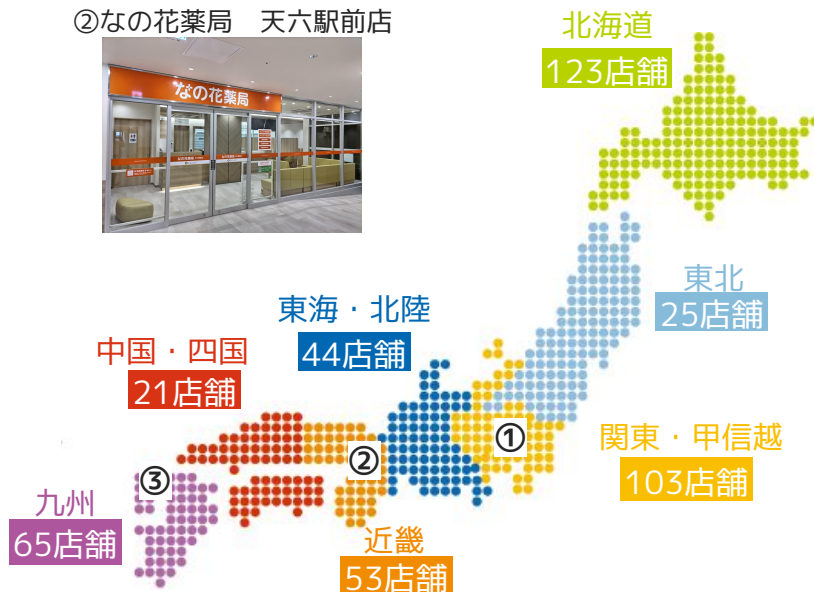
①なの花薬局 東十条店



②なの花薬局 天六駅前店



③さくら薬局 伊都店



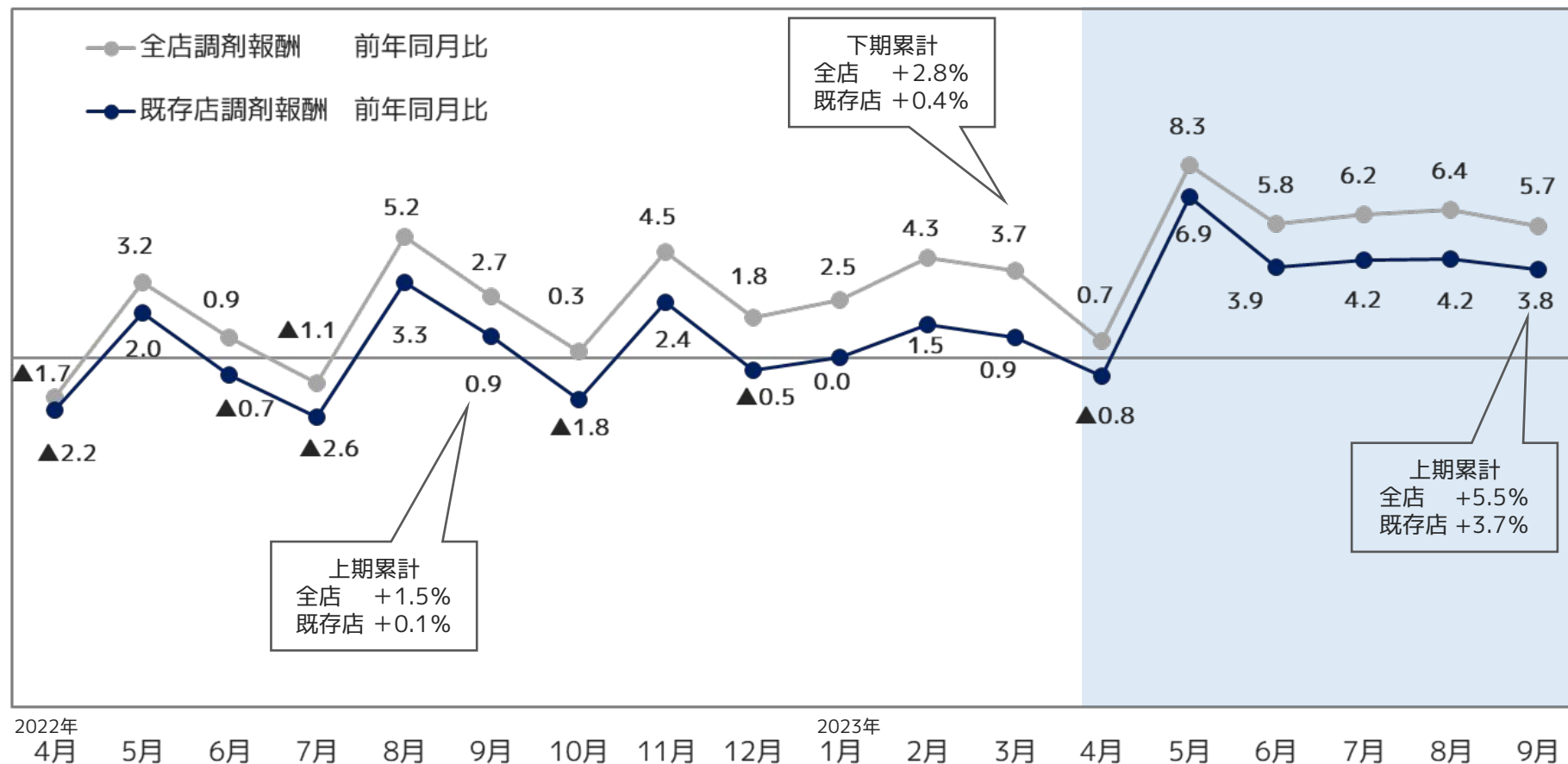
	2024/3期（9月30日時点）	
	確定数（うち実績）	通期計画
薬局店舗出店件数	14件（8件）	15件
医療機関誘致件数	16件（12件）	10件

過去10年間の地域薬局店舗数の推移

2023年9月30日時点

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期 第2四半期	2026/3期 中計計画
出店	10	9	8	8	5	8	7	12	8	8	—
閉店・事業譲渡	▲13	▲8	▲4	▲5	▲14	▲15	▲13	▲6	▲7	▲2	—
M&A	27	7	20	19	30	3	6	3	2	0	—
店舗数	345	353	377	399	420	416	416	425	428	434	550

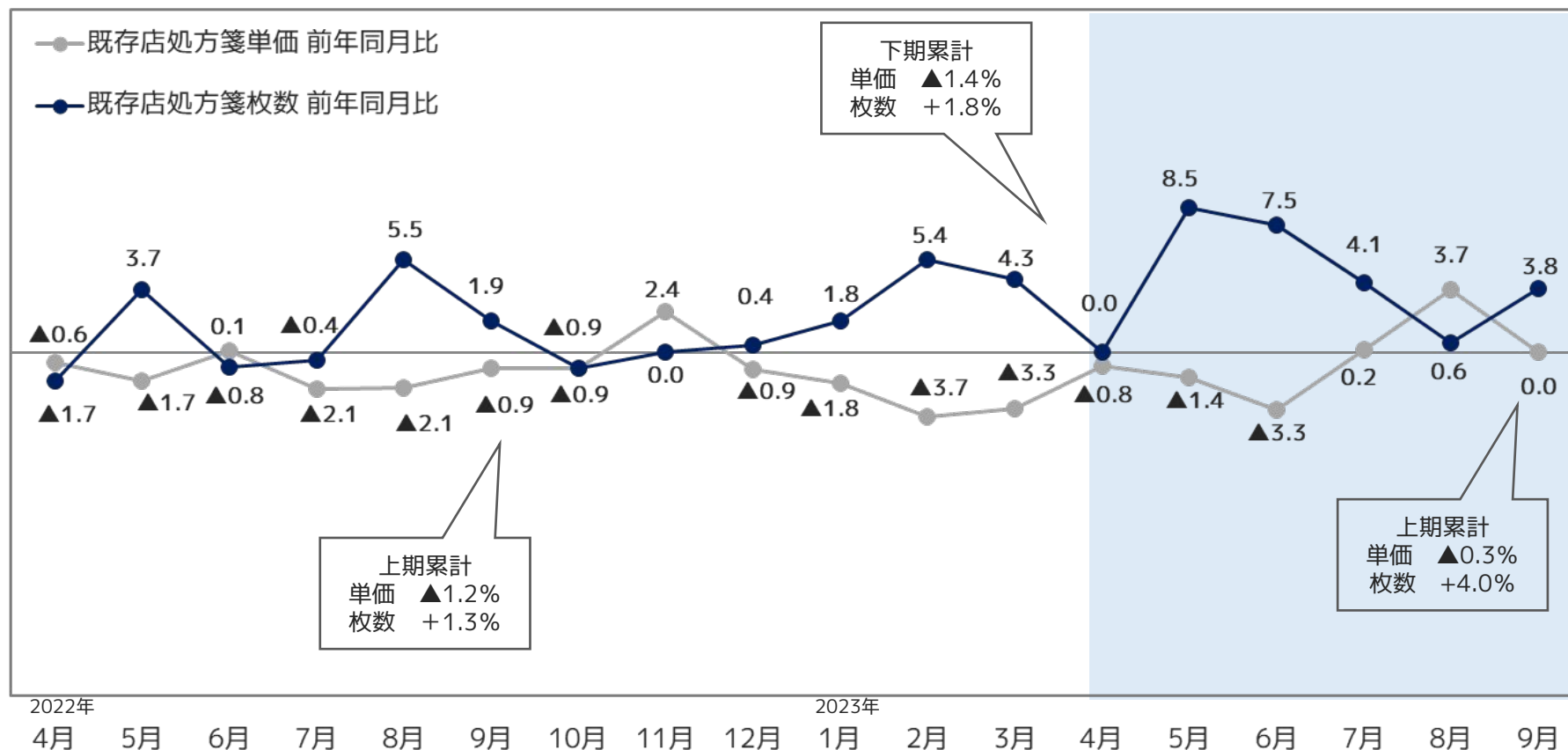
地域薬局部門 一月次調剤報酬の前年同月比較



※ 「既存店」は、前期は2021年4月1日以降、当期は2022年4月1日以降継続して開局している店舗が対象

地域薬局部門 — 既存店 処方箋単価・枚数の前年同月比較

- ・ 地域支援体制加算の経過措置終了に伴い、処方箋単価下落
- ・ コロナ5類移行や感染症の流行、処方箋送信等のDX活用や服薬フォローにより処方箋応需枚数増加



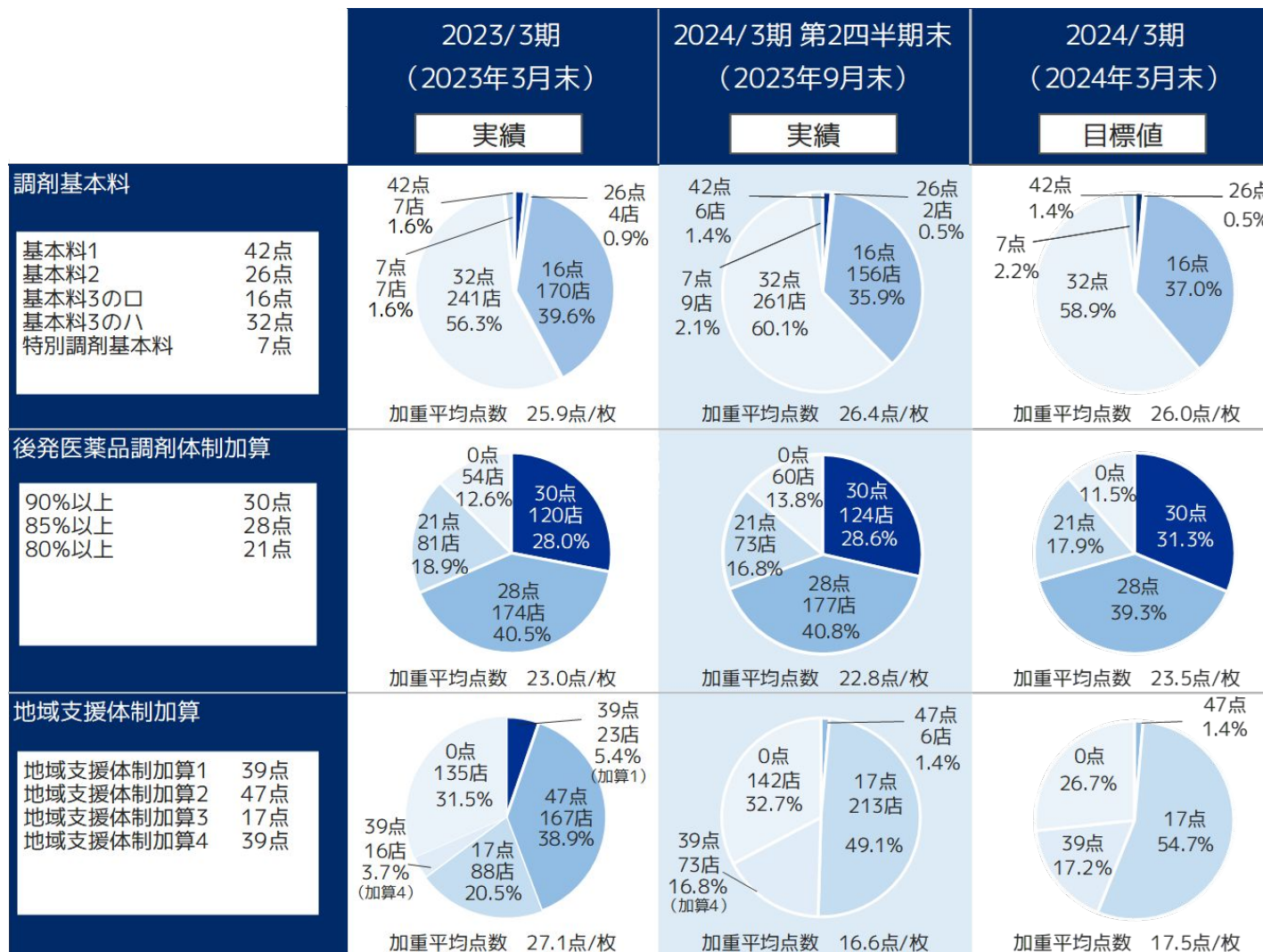
■ 全店		2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	増減	増減率 (%)
処方箋枚数 (千枚)		4,517	4,777	+ 260	+ 5.8%
処方箋単価 (円)	薬剤料 / 枚	7,634	7,687	+ 54	+ 0.7%
	技術料 / 枚	2,427	2,346	▲ 81	▲ 3.3%
	計	10,061	10,033	▲ 28	▲ 0.3%
調剤報酬 (百万円)		45,448	47,935	+ 2,487	+ 5.5%

■ 既存店

処方箋枚数 (千枚)		4,463	4,642	+ 179	+ 4.0%
処方箋単価 (円)	薬剤料 / 枚	7,593	7,635	+ 42	+ 0.5%
	技術料 / 枚	2,431	2,356	▲ 74	▲ 3.1%
	計	10,024	9,991	▲ 33	▲ 0.3%
調剤報酬 (百万円)		44,737	46,383	+ 1,645	+ 3.7%

※ 調剤報酬は、処方箋枚数×処方箋単価にて計算

地域支援体制加算経過措置終了により加重平均点数は前期末比減少も、取得は計画を上回り進捗引き続き対人業務に注力



自社開発の新在庫管理システム「LINCLE」を直営全店舗へ導入

●LINCLE導入効果

- ・ 発注業務量削減⇒自動発注により直営全店で業務の削減を実現、発注業務量“約6割”削減
- ・ 発注忘れ減少による欠品削減⇒“約7割”の店舗で欠品削減

【薬局がかかえる悩み】



- ・ 医薬品の欠品や廃棄による損失発生
- ・ 発注や在庫管理に要する時間
⇒対人業務の時間減少

【店舗の声】



■なの花薬局千歳店
品目数や在庫の量も多いが、自動計算で適正な発注量を決めているので時間短縮に繋がっている。



■なの花薬局札幌月寒店
医薬品の出荷調整への対応も他店在庫参照を活用して店舗間移動が行える。

【LINCLE導入効果】



- ・ 薬の需給予測による適正発注
- ・ 自動発注機能による発注業務の削減
⇒対人業務の時間創出

- ・ 適正在庫の自動発注により、対物業務にかかる労働時間を大幅に短縮、廃棄ロスの削減でコストコントロールに大きく貢献
- ・ 2023年10月～加盟店・一般薬局向けに販売開始

医薬品ネットワークを中核に医薬品製造販売、デジタルシフトの3事業で地域薬局を支援

■ 今期数値目標に対する進捗

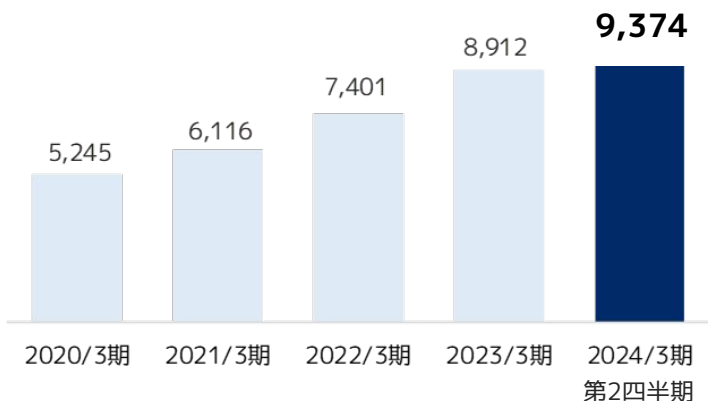
	今期数値目標	進捗 (9月30日時点)
医薬品ネットワーク	加盟件数 10,400件 (+1,488件)	9,374件 +462件 (前期末比) 9,417件 (10月31日時点)
医薬品製造販売	取引店舗数 5,000店 (+1,263店)	3,894店 ^{※2} +663店 (前年同期比) ※2 取引店舗数は、毎年4月以降に取引のあった店舗数
デジタルシフト	導入店舗数 5,300店 (+1,909店) 友だち登録100万人 (+36万人)	4,195店 +804店 (前期末比) 84.2万人 +19.3万人 (前期末比)

※1 医薬品ネットワーク部門、医薬品製造販売部門、デジタルシフト部門

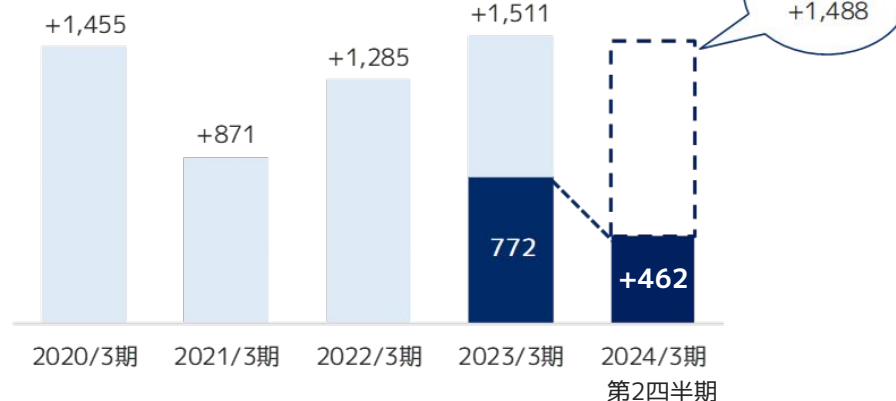
医薬品ネットワーク加盟件数は計画未達ながら概ね順調に積み上り、医薬品取扱高は計画比増

■ 通期 ■ 第2四半期

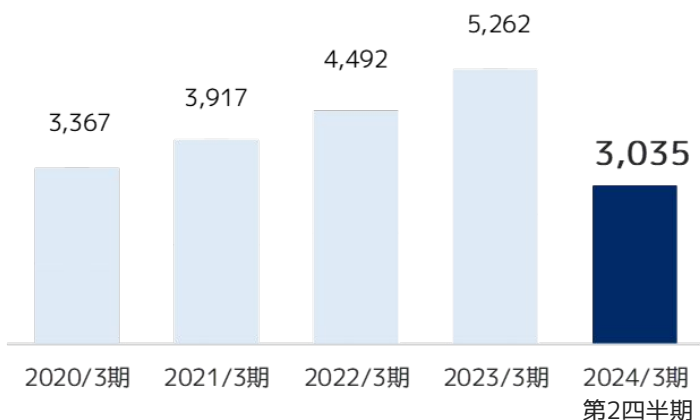
■ 加盟件数（実績）（単位：件）



■ 加盟件数（純増数推移）（単位：件）



■ 医薬品発注取扱高（単位：億円）



■ 2024/3期 加盟件数内訳（新規・脱退）

	第1四半期	第2四半期
新規	342	307
脱退	▲82	▲105



当第2四半期は、価格交渉の進捗状況等から、加盟に関して一旦様子見をする姿勢の薬局が多数

（参考）2023/3期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
新規	525	420	477	439	1,861
脱退	▲114	▲59	▲95	▲82	▲350

- ・地域単位で医薬品を融通することを目的に、医薬品在庫情報を加盟店間で共有できるサービスを2023年9月提供開始
- ・医薬品供給不安下で薬局、医薬品卸双方の業務負担軽減へ貢献

■ 在庫情報共有サービスのメリット

薬局

- ・地域支援体制加算特例措置の加算対象における施設基準充足
- ・在庫確保のための業務負担を軽減
- ・最新の納品データでの検索可能

■ サービス内容

① 薬品名を入力し、在庫の可能性のある近隣店舗※を検索



② 地図上で店舗情報、経路を確認



③ 連絡をとり、医薬品を受け渡し



※ 指定の医薬品を3カ月以内に購入した実績のある店舗を表示
当社が納品データを1日3回更新

患者

- ・待ち時間の軽減

医薬品卸

- ・急配の減少
- ・後発医薬品の供給不安対応緩和

2023年8月
特許出願完了

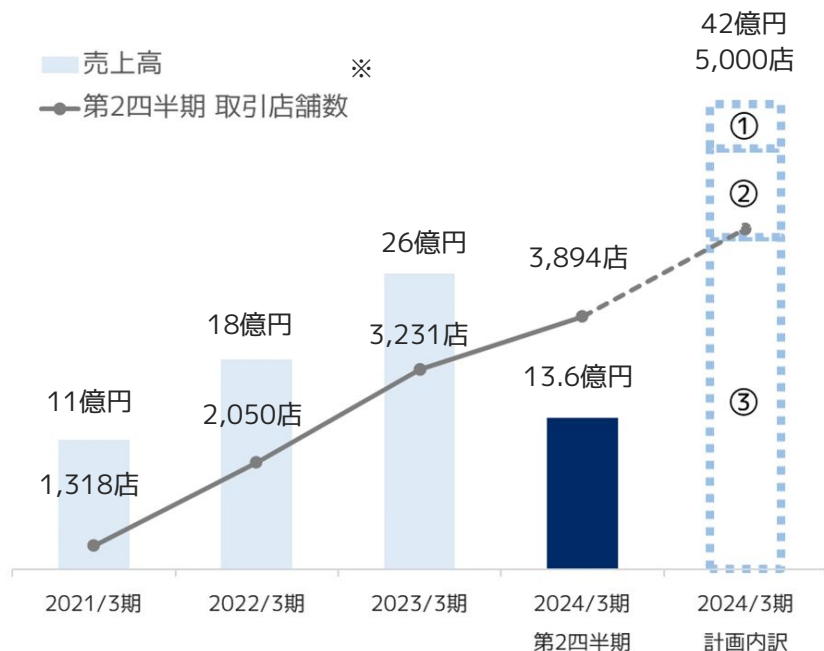
サービス開始から約1ヶ月で
876店舗利用中

※ 2023年10月末現在

Fel FELDSENF PHARMA

- ・ 出荷調整の影響により、受注を停止している品目があるものの、新規取引先は順調に増加
 ✓ 取引先前年同期比 +663件
- ・ 随時出荷再開するも、一部製品で出荷調整を継続 ➡ 通期目標に対して下振れの見込み
 ※9月30日時点の出荷調整品目数は6成分10品目（2023年3月期末：7成分19品目）

■ 売上高・取引店舗数



■ 今期売上計画の内訳

	発売時期	製品名	成分・品目
①	2023年6月	アジルサルタンOD錠 10mg/20mg/40mg 「フェルゼン」	5成分 12品目
	2023年8月	オロパタジン塩酸塩錠 2.5mg/5mg「フェルゼン」	
	2023年12月	1成分3品目（予定）	
	2024年1月～3月	2成分4品目（予定）	
②	2022年4月～2023年3月	発売品	4成分 11品目
③	2022年3月以前の発売品		41成分 82品目

※ 取引店舗数は、毎年4月以降に取引のあった店舗数



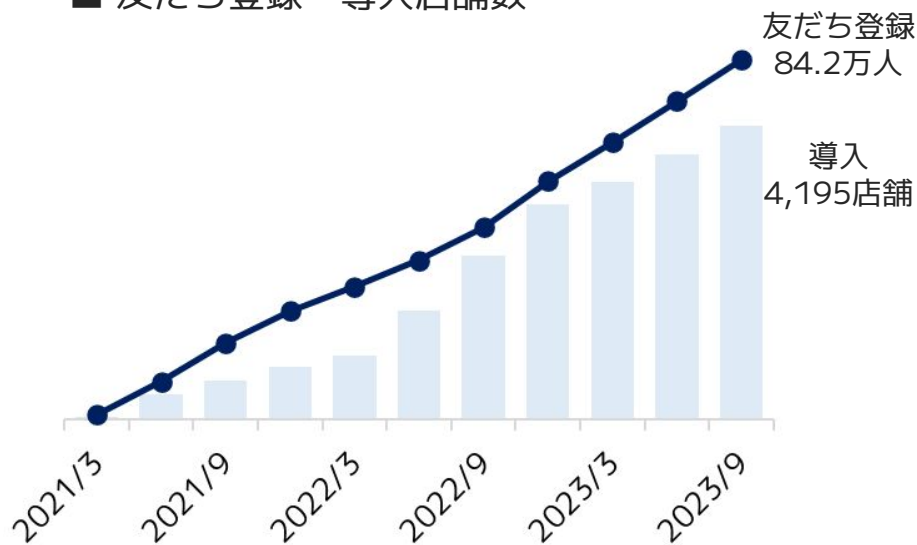
Pharmashift

LINE公式アカウント

つながる薬局

- ・ 友だち登録は84.2万人、導入店舗数は4,195店舗に順調に増加
- ・ (株)リテイギとの合併契約を解消し(株)ファーマシフトを100%子会社化、従来通りのサービスを継続

■ 友だち登録・導入店舗数



■ 新規処方箋獲得効果

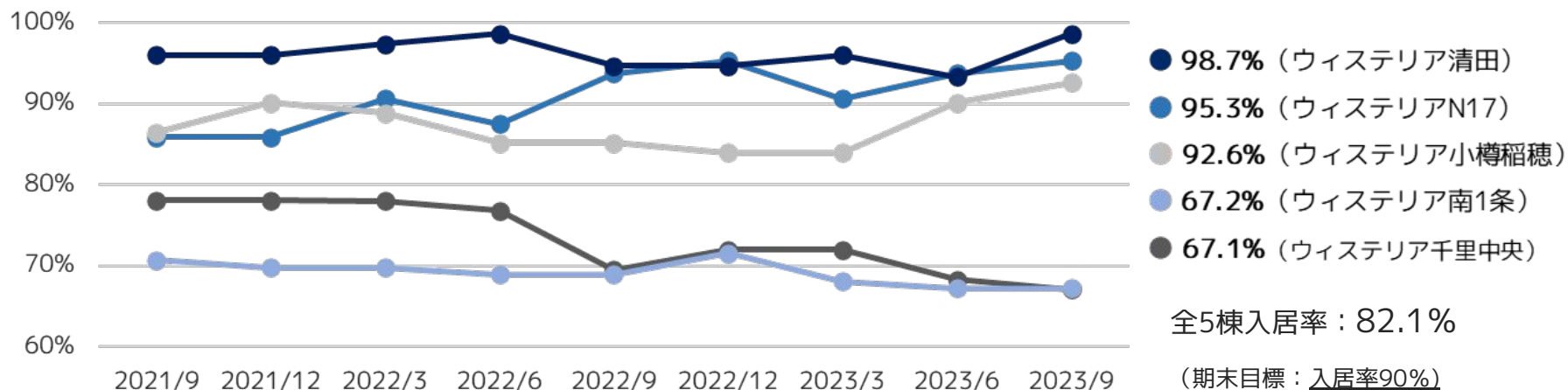


■ 合併契約の解消

- ・ 2023年11月7日、リテイギとの合併契約の解消を発表 (2023年11月30日付を予定)
- ・ 同社子会社の(株)RePharmacyが保有するファーマシフト株式(持分比率49%)を、当社が取得し100%子会社化
- ・ 「つながる薬局」は、RePharmacyが行う関連事業をファーマシフトが事業譲受



ウイステリア入居率の推移



- ・ ウイステリアの新規入居35件、退去28件
- ・ ウイステリアの人員配置と広告宣伝費を見直し
- ・ 薬局開発に係る経費を賃貸・設備関連事業から地域薬局部門へ振替（経費振替額 78百万円）

✓ 賃貸・設備関連事業 売上高 1,687百万円（前年同期比 +0.8%）
 営業利益 69百万円（前年同期は営業損失 65百万円）



3

2024年3月期
業績予想
・
中間配当

2024年3月期 業績予想を上方修正 — 連結業績

当第2四半期までの好調な実績を勘案し、2024年3月期通期業績予想を大幅に上方修正

(単位：百万円)	2023/3期 実績	2024/3期 当初予想	2024/3期 修正予想	増減額 (修正予想- 当初予想)	増減率
売上高	109,551	112,500	113,800	+ 1,300	+ 1.2 %
EBITDA 利益率	6,122 5.6 %	5,600 5.0 %	6,600 5.8 %	+ 1,000 0.8 pt	+ 17.9 %
営業利益 利益率	3,163 2.9 %	2,600 2.3 %	3,500 3.1 %	+ 900 0.8 pt	+ 34.6 %
経常利益 利益率	3,355 3.1 %	2,550 2.3 %	3,450 3.0 %	+ 900 0.7 pt	+ 35.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	1,610 1.5 %	1,000 0.9 %	1,650 1.4 %	+ 650 0.5 pt	+ 65.0 %
1株当たり当期純利益 (円)	53.38	33.14	54.67	+ 21.53	—

2024年3月期 業績予想－修正後セグメント別業績（前期比）



■ 売上高

（単位：百万円）

■ 営業利益

（単位：百万円）



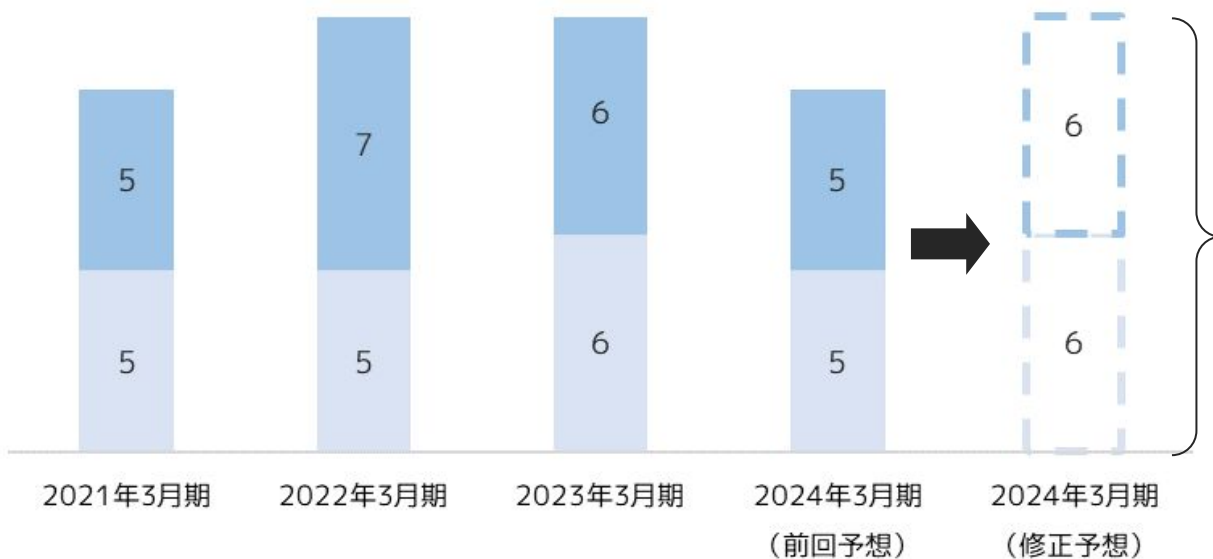
※ 2024年3月期より、薬局の開発に係る経費を賃貸・設備関連事業から地域薬局部門へ振替 経費の振替額142百万円

2024年3月期 配当予想を上方修正

2024年3月期の配当予想は、通期業績予想の修正に伴い、前回予想（2023年5月9日発表）の10円から2円増額し、1株当たり12円（中間配当6円、期末配当6円）に修正



【1株当たり年間配当金推移】



《参考》
2024年3月中間配当
基準日：2023年9月30日
支払開始日：2023年12月11日
1株当たり配当額：6円

12円

女優 福地桃子さんが出演する
なの花薬局啓発動画公開中！



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP



スペシャルサイト QRコード



クリック

株式会社
メディカルシステムネットワーク

<https://www.msnw.co.jp/>

MSNW

検索

【 お問い合わせ先 】

経営管理部

TEL : 011-613-7750

E-mail : info@msnw.co.jp